

令和6年度 自己評価表(計画)

愛媛県立松山東高等学校
学校番号(20)

教育方針	1 高い知性と豊かな創造性を身に付け、新しい文化の発展に貢献する人間を育成する。 2 高い道義心と公正な判断力を身に付け、人類の福祉増進に寄与する人間を育成する。 3 たくましい気力・体力を身に付け、平和な国家社会の実現に努力する人間を育成する。	重点目標	生徒の可能性を広げ、豊かな人間性を育む教育の実践 -徹底した個人指導から、さらなる高みへ- <卒業までに育てる力> 1 自己を鍛え、幅広い教養と学び続ける姿勢を身に付けて、課題解決に取り組むことのできる力 2 自他の多様性を理解し、対話と協働によって互いに高め合うことのできる豊かな人間性 3 世界的視野を持ち、持続可能な社会のリーダーとして新たな創造を切り拓くことのできる力 4 各々の目標を実現するに足る、高く、広く、豊かな学力		
領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	教育目標達成のための実践	個人面接強調週間も活用し、担任による個人面接を1、2年生一人年間10回以上、3年生一人年間15回以上を目指す。また、保護者アンケートの教育課程や授業に関する評価8.0以上を目指す。 1、2年 A:10回以上 B:9回 C:8回 D:7回 E:6回以下 3年 A:15回以上 B:14~13回 C:12~11回 D:10~9回 E:8回以下 保護者アンケート A:8.0以上 B:7.9~7.5 C:7.4~7.0 D:6.9~6.5 E:6.4以下			
	働き方改革に対する教職員の意識改善	目標チャレンジ制度を活用し、働き方についての意識改革を進め、ワークライフバランスの充実を図る。自己評価の平均値3.3以上を目指す。 A:3.5以上 B:3.3~3.4 C:3.1~3.3 D:2.9~3.0 E:2.8以下			
	円滑な組織運営	業務の精選と情報共有を進め、円滑な組織運営を図り、自己評価の平均値8.5以上を目指す。 A:8.5以上 B:8.4~8.3 C:8.2~8.1 D:8.0~7.9 E:7.8以下			
	施設設備の安全管理の徹底	施設設備の安全点検を定期的に行い、保護者アンケートの当該項目に関する評価7.5以上を目指す。 A:7.5以上 B:7.4~7.2 C:7.1~6.9 D:6.8~6.6 E:6.5以下			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	授業外学習の充実	1、2年生は180分以上、3年生は330分以上の授業外学習習慣を形成し、主体的に学ぶ力を身に付ける。 1、2年生 A:180分以上 B:160分以上～180分未満 C:140分以上～160分未満 D:120分以上～140分未満 E:120分未満 3年生 A:330分以上 B:310分以上～330分未満 C:290分以上～270分未満 D:270分以上～290分未満 E:270分未満			
	教科指導の充実	授業公開週間や各教科の研究授業、教科会や各種の研修会等の機会を活用し、お互いの取組を共有し、各教員の授業力向上を目指す。			
生徒指導	交通安全指導の充実	学校と保護者・地域の方々との連携を深め、安全な通学への啓発活動を積極的に推進していくとともに、交通ルールの遵守とマナーアップの向上を図る。特に「自分の身は自分で守る」の教訓を生かし、年間の交通事故の件数を15件以下にするよう指導する。			
	基本的な生活習慣の確立	集団生活に必要な規範意識の向上を図り、自律する能力を培い、基本的な生活習慣をより一層自分に合ったものにしていくよう指導していく。余裕のある行動を心掛け、10分前行動の徹底を図ることを通して、1か年の皆勤率60%以上を目指す。 A:60%以上 B:59%～55% C:54%～50% D:49%～45% E:45%未満			
進路指導	進学指導の充実	東大、京大等の国立難関大学、国公立大学医学部医学科の合格者数80名以上を目指す。 A:80名以上 B:79～70名 C:69～60名 D:59～50名 E:49名以下 (現役生の合格者数では、国立難関10大学50名以上、国公立大学医学部医学科10名以上を目指す)			
		早稲田、慶応、上智、関関同立等、私立難関大学延べ合格者数250名以上を目指す。 A:250名以上 B:249～230名 C:229～210名 D:209～190名 E:189名以下			
		国公立大学合格者数250名以上を目指す。 A:250名以上 B:249～230名 C:229名～210名 D:209名～190以上 E:189以下			
特別活動	ホームルーム活動の充実	消費者教育など新しい内容を研究し、更に発展した活動が展開されるよう担任を援助するとともに、生徒の自発的・自治的活動を助長し、より良い人間関係を形成できるホームルーム活動を確立する。			
	生徒会活動の充実	生徒会執行部の役割を明確にし、更に自主的な活動ができるよう、生徒会役員との連携を更に深める。また、生徒会委員会の活動をより活性化し、生徒主体の活動が展開できるように支援していく。			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
特別活動	学校行事の充実	学校行事の特性やねらいを明確にし、東高ならではの伝統的な校風を継承・発展させていく。また、集団の中でリーダーシップやフォロワーシップを発揮させるとともに、マナーアップを図る。そのためにも、生徒が学習活動や部活動とのバランスをとりながら、積極的に取り組めるような支援を行っていく。			
	部活動の充実	学習活動や学校行事とのバランスを考慮しながら顧問と生徒が一体となった「質の高い文武両道の実践」を目指すとともに、総合的な人間力の育成にも重点を置き、毎日の活動を充実させていく。 A:全国大会出場10種目以上 B:8種目以上 C:6種目以上 D:4種目以上 E:2種目以上			
保健・安全管理	健康教育の充実	生徒一人一人の健康状態を確実に把握し、健康の維持・増進を図るとともに、健康診断結果による事後措置の徹底を図り、心電図・尿検査受診率を上げる。A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:85%以上 E:85%未満 生徒のニーズに応じた効果的な保健講話を企画し、生徒・保護者への事後アンケートで「役に立つ内容だった」「とても役に立つ内容だった」の項目が80%以上になることを目標とする。			
	教育相談の充実	月1回の定例会を効果的に活用し、学年団等と連携して組織的に対応する。学校生活アンケートを各学期1回実施し、担任の面談・配慮を要する生徒への教育相談担当者の面談を確実に実施する。年2回の生徒個人面談強調週間を活用し、個人指導の充実を図る。「教育相談だより」を年間5回発行し、生徒が心身の状況を客観的に見つめ、相談をしやすい状況を作る。また、スクールライフアドバイザーからの情報発信を行う。 特別支援教育校内委員会を通じて校内支援体制を確立し、教育支援に関する共通理解を図り、年間1回以上職員会において報告を行う。「教育相談だより」を通じて多様性の尊重について啓発する。配慮を要する生徒について迅速に対応する。			
	環境の整備と美化の推進	ゴミの分別を徹底し、ゴミの削減に努める。ゴミ袋の使用枚数を昨年度より10%減らすことを目標にする。 掃除用具や備品を定期的に点検・整備し、整理整頓をすることで、効率の良い清掃活動に取り組めるようにする。 環境美化に関する意識を高めることで、生徒自らが自主的に清掃活動に取り組もうとする学校を目指す。10分間全力清掃。			
保健・安全管理	危機管理の徹底	危機管理マニュアル・防災避難訓練の在り方を学期ごとに見直し、発災時を想定した地域との連携を図る。また、生徒課をはじめ各課とも連携し、安全な学習環境の構築と安全教育に努めて、災害・事件・事故発生時に迅速・的確に対応できるようにする。			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
人権教育	人権問題学習の充実	「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨と内容を生徒・教職員に周知徹底させ、人権便りを学期に1回発行する。			
	人権教育研修会の充実	新聞記事を中心に人権に関する資料作成に力を入れ、学期に1回教職員に配布する。また、学年会で校外研修の報告を行い、成果を共有する。			
図書活動	読書指導の充実	「朝の読書」の目的を理解させ、読書に臨む意識を高める。図書委員による「読み聞かせ」を学期に1回行い、内容の充実を図る。読書会を活発にする。 啓発活動を継続して行い、一人一か月2冊以上の読書を奨励し、学校全体で年間20,000冊以上の読書を実践する。 A: 20,000冊以上 B: 19,999冊～18,000冊 C: 17,999冊～16,000冊 D: 15,999冊～14,000冊 E: 13,999冊以下			
	図書館活動の活性化	図書委員会活動を活発に行い、図書館内の展示・掲示を毎月更新する。毎月発行の「図書館だより」、年3回発行の「図書館報」の内容を充実させる。			
現職教育	校外研修の充実	学校訪問や授業公開などの研修への参加を呼び掛け、積極的な参加を促す。また、参加報告会を実施することで、情報の共有を図る。			
	校内研修の充実	授業改善を図る機会として、授業相互参観週間を活用する。校内研究授業を年5回以上行い、広報に努める。 A: 5回以上 B: 4回 C: 3回 D: 2回 E: 1回以下			
PTA活動	PTA活動の充実	総務・文化・生活指導・保健厚生・進路指導の各委員会の理事を中心に意欲的に行われているPTA活動に、一般保護者が参加しやすい活動を模索(PTA総会参加率を20%以上)し、活動の活発化を図ることで、生徒にとってより良い教育環境を作ることを目指す。特に今年度は本来の東高PTA活動の特色を前面に押し出し活動の充実を図る。			
		「明教通信」を年4回、「明教便り」を年12回発行、「ホームページ」を適宜更新することにより、保護者に必要な情報を伝えるとともに、本校保護者の本校教育への興味を喚起したい。			

※ 評価は5段階(A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった)とする。